

令和7年度「交通空白」解消等リ・デザイン全面展開プロジェクト(「交通空白」解消緊急対策事業)
(令和6年度地域公共交通確保維持改善事業費補助金(「交通空白」解消等リ・デザイン全面展開プロ
ジェクト))対象事業

令和7年度第3回 皆野町地域公共交通活性化協議会 会議概要

日時	令和7年12月4日(木) 13:30～
場所	皆野町役場 2階 201会議室
出席者	別紙名簿のとおり ※名簿のほか町コンサルタント事業者である株式会社アイ・ディー・エー(社会技術部)が参加 ※以下の議事概要については発言者ごとに次の記号表記を行う ●委員 ○事務局 △コンサル(株式会社アイ・ディー・エー社会技術部)
<ul style="list-style-type: none">・ 委員6名欠席・ 皆野町地域公共交通活性化協議会設置要綱第6条第2項の規定に基づき、過半数の委員の出席により、会議を開催する。・ 皆野町地域公共交通活性化協議会設置要綱第5条第2項に基づき、長島会長を議長に指名。・ 協議会議事概要については町ホームページにて公開する。 <p>【要約】 (出席：委員8名・事務局3名・コンサル3名 欠席：委員6名)</p> <ul style="list-style-type: none">・ 運賃体系(案)については、収支状況、ドライバーの負担、設備更新の要否、住民の利用しやすさ等を踏まえ、300円の定額制へ変更する旨を協議し、承認された。・ 路線バス再編に係るダイヤ設計等について協議し、承認された。 なお、「効率的な運行」の実施に関して、自家用有償旅客運送の場合、協議会内で合意形成が図られていれば、特段手続は必要ないとの指摘があった。また、キャッシュレスの代替方法として回数券による支払いが提案され、自家用有償旅客運送では徴収方法に規定がないため制度上問題ないとの回答が得られた。・ デマンド交通の実証運行状況について報告を行い、今後の周知・利用促進に加え、「お出かけタクシー」および路線バスとの関係性を踏まえた検討の必要性が指摘された。 <p>1. 開会(議長：長島会長)</p> <p>2. 議事</p>	

(1) 運賃体系（案）について

・ 説明（事務局）

●（近藤）：近年、コミバス等においても運賃の値上げを実施している事例が出てきている。収支率を考慮して、運賃の値上げは検討しているのか。

→○：300 円または 400 円に値上げする方針。定額制では始点～終点が 300 円、ゾーン制で 400 円とすると、現在の運賃体系から値上げが発生する区間がある。ただし、町長から「住民の足として利用しやすい料金体系に」との指示があり、その点も踏まえての運賃設定で検討した。

●（近藤）：値上げについて、住民説明が難しい場合や利用客数への影響も懸念されるため、考慮しながら進めていただきたい。また、大きく値上げをしないため、事業が立ち行かなくならないよう今後も検討を続けていただきたい。

➡路線バスの運賃体系（案）について承認された。

(2) 町営バス再編に係るダイヤ設定等について

・ 説明（事務局）

●（近藤）：「効率的な運行」について、町営バスの登録等の手続き自体は埼玉県で管理しているが、自家用有償運送であるため、協議会での合意形成が図られていれば、特段手続きは必要ない。

➡町営バス再編に係るダイヤ設定等について承認された。

3. その他

デマンド交通実証運行状況について

・ 説明（事務局）

●（金子）：実証運行の開始から間もないため利用者は少ないが、利用者からは便利との声を頂いている。今後は周知や利用促進の取組が必要。また、「お出かけタクシー券」とデマンド交通をどう位置付けていくか、早急に検討すべき。

●（金子）：バスの定額制について、現金の取り扱いがドライバーの負担になっているとのことであったが、役場で 300 円の回数券のようなものを事前購入し、乗車時に使う方法は可能なのか、運輸局や県の制度上なにか問題等あるか。

→●（近藤）：自家用有償旅客運送における、運賃の徴収方法は特に定められていないため問題ない。

●（金子）：キャッシュレスの導入は負担になる部分もあるが、定額制なのであれば、役

場で10枚綴りなどを販売するなど、キャッシュレスの代替として運用できるのではないかと。

→○現在も回数券は取り扱っており、数は少ないが通勤等で利用する方がいる。よく利用する方の場合は定期券を購入している。今回、300円の定額制ということで承認を得たため、方法の一つとして検討したい。

●（金子）：運休日の増加や減便など、運行内容の変更により、人件費・燃料費が削減されると考えられるが試算はあるか。

→○：本日決定した内容で、新年度予算編成に向けて委託業者に見積りを依頼する予定。

●（萩原）：野巻・大淵・金崎の住民における利用状況はどうか。

→●（金子委員随行者）：金崎地区ではこれまでに1名の利用実績があるが、野巻・大淵地区では現時点で利用はない。ただし登録者はおり、野巻3名、大淵7名、金崎5名となっている。

→●（萩原）：実証運行は無料のため、本格運行で有料化後の利用がどうなるか予測が難しいが、町営バスが運行された場合、住民は予約不要で安く利用できるため、デマンドタクシーは利用されなくなる可能性がある。かつて病院バスを運転していた際、買物などにも柔軟に対応していた経験から、公共交通の不足が日常生活に支障を生じさせていると実感している。今後も状況を見ながら、町営バスとの関係を含め検討していただきたい。

→○：金崎・野巻地区からもこれまで要望はあったが、路線再編では小学校統合に伴うスクールバス機能を最優先したため、両地区を回るルート設定やダイヤ編成が難しく、乗り入れは今回見送った。今後は今回の改正や利用状況、いただいた意見を踏まえて、検討を進めていきたい。

●（金子）：要望があっても実際には利用されないことが多いが、一度利用すると便利さがよく分かり、現在の16名のように頻繁に使うようになる。無料期間のうちに金崎地区などの住民にも体験してもらうことが重要であり、デマンド交通は自宅まで迎えに来る利便性があるため、住民自身が周囲に「使ってみてほしい」とPRしていただくことが大切だと考えている。

4. 閉会（副会長）

以上

写真等

